

道徳(論語)と利益追求(算盤)!

日本の近代資本主義の父と呼ばれる

渋沢栄一を今だから、ぜひ読んでみたい!

新刊案内

なぜ今、渋沢栄一なのか

——渋沢栄一物語

社会人になる前に一度は触れたい、論語と算盤勘定

「入るを計って出るを制す」と言って大蔵省をやめて実業家となった渋沢。
今この国は「入るを計らず 平成2年 60兆円 (歳入43兆円)、出るも制していない (歳出93兆円)」

田中直隆 著



- ISBN978-4-904022-85-6
- 四六判 224頁
- 本体価格1,500円+税

著書

- 「小さい会社のつくり方」(日本実業出版社)
- 「小さい会社をつくる」(ちくま新書)
- 「有限会社を自分でつくる本」(PHP 研究所)
- 「会社をつくって成功する法」(PHP 文庫)
- 「ネット消費者心理のつかみ方」(中央経済社)
- 「コンパクト経営学」(中央経済社)
- 「新フランチャイズ成長戦略」(ビジネス社)

……ビジネスを中心に 41冊

筆者紹介

田中直隆 (たなか・なおたか)

- 昭和 15 年 京都生まれ
- 昭和 37 年 明治大学経営学部卒業
- 昭和 45 年 明治大学大学院経営学研究所博士課程修了
- 昭和 58 年 第一経済(現日本経済) 大学教授
- 昭和 60 年 日本文芸大賞 エッセイ賞受賞
- 昭和 63 年 帝京短期大学教授
- 現在 日本ベンクラブ会員
サンフランシスコ州立大学客員教授
ハワイ州財団 WWRF 理事長 その他

キリトリ線

- 第 1 章 なぜ今、渋沢栄一なのか?
- 第 2 章 人生と仕事を教える渋沢論語
- 第 3 章 『論語』の教える人材論
- 第 4 章 渋沢栄一から学ぶ人間学
- 第 5 章 実業家渋沢栄一の誕生
- 第 6 章 実業家と教育者としての渋沢栄一
- 第 7 章 エピソード

近代殖産興業の父
渋沢栄一が
かかわった会社

世界遺産
富岡製糸場

第一国立銀行、七十七国立銀行など多くの地方銀行設立を指導、理化学研究所、富岡製糸場、東京瓦斯、東京海上火災保険、王子製紙(現王子製紙・日本製紙)、田園都市(現東急電鉄)、秩父セメント(現太平洋セメント)、帝国ホテル、秩父鉄道、京阪電気鉄道、東京証券取引所、キンピール、サッポロビール、東洋紡績、商法講習所(現一橋大学)・大倉商業学校(現東京経済大学)、二松学舎(現二松学舎大学)、学校法人国士館、同志社大学、女子教育奨励会、日本女子大学校・東京女学館、東京慈恵会、日本赤十字社、癩予防協会、財団法人聖路加国際病院、財団法人滝乃川学園、YMCA環太平洋連絡会議など、その数は600以上といわれている

お近くの書店へお出しください

渋沢栄一物語	ISBN978-4-904022-85-6 定価1,500円+税	冊	書店名 / 販売店
お名前			申込月日 月 日
住所 〒			
TEL.			

発行・発売 三冬社 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-2 TEL.03-3231-7739/FAX.03-3231-7735